

## 資料編

# 首都圏整備に関する各種データ

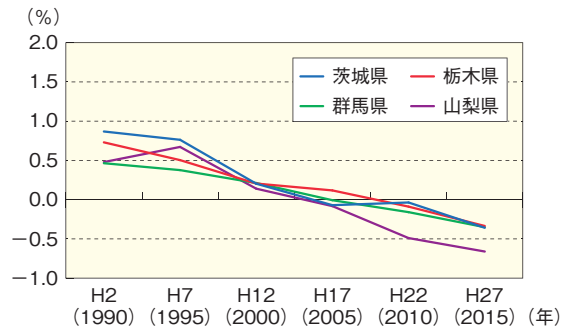
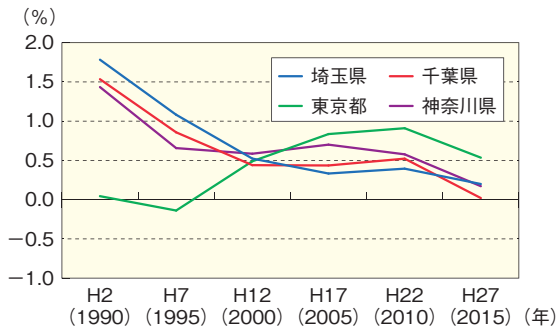
## 1 人口の状況

## 1-1 首都圏等の人口と人口増加率の状況

	人口(千人)					人口増加率(%)			
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	H7~12	H12~17	H17~22	H22~27
全国	125,570	126,926	127,768	128,057	127,095	1.1	0.7	0.2	-0.8
首都圏	40,402	41,322	42,379	43,467	43,830	2.3	2.6	2.6	0.8
東京都	11,774	12,064	12,577	13,159	13,515	2.5	4.2	4.6	2.7
東京都区部	7,968	8,135	8,490	8,946	9,273	2.1	4.4	5.4	3.7
都心3区	244	268	326	375	443	10.0	21.7	15.0	18.1
近隣3県	20,803	21,354	21,902	22,459	22,615	2.6	2.6	2.5	0.7
周辺4県	7,825	7,904	7,900	7,849	7,699	1.0	-0.04	-0.7	-1.9

資料：「国勢調査」(総務省)を基に国土交通省都市局作成

## 1-2 首都圏の都県別人口増減率の推移



注：国勢調査の人口増加率(5箇年分)を基に算出した単年度当たりの増加率

資料：「国勢調査」(総務省)を基に国土交通省都市局作成

## 1-3 首都圏等における総人口に占める年齢3区分別人口割合の状況

		(単位：%)				
		平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
0~14歳人口	全国	16.0	14.6	13.8	13.2	12.6
	首都圏	15.0	13.8	13.2	12.7	12.3
	東京都	12.8	11.8	11.5	11.4	11.5
	近隣3県	15.6	14.3	13.7	13.2	12.6
	周辺4県	16.9	15.3	14.3	13.6	12.7
15~64歳人口	全国	69.5	68.1	66.1	63.8	60.7
	首都圏	72.7	71.2	68.9	66.3	63.3
	東京都	74.2	72.3	70.0	68.2	65.9
	近隣3県	73.6	72.1	69.4	66.2	62.7
	周辺4県	68.1	67.2	65.7	63.5	60.4
65歳以上人口	全国	14.6	17.4	20.2	23.0	26.6
	首都圏	12.3	15.0	18.0	21.0	24.5
	東京都	13.0	15.9	18.5	20.4	22.7
	近隣3県	10.8	13.6	16.9	20.7	24.7
	周辺4県	15.0	17.5	20.0	22.9	26.9

注：内訳の合計が100%とならないのは、数値の四捨五入の関係による。

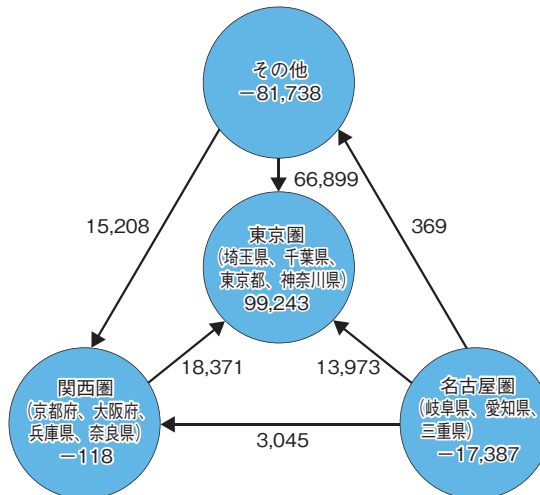
資料：「国勢調査」(総務省)を基に国土交通省国土計画局作成

## 1-4 首都圏等における65歳以上単身世帯の状況

		平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
65歳以上単身世帯数 (単位：千世帯)	全国	2,202	3,032	3,865	4,791	5,928
	首都圏	594	881	1,177	1,546	1,960
	東京都	265	388	498	622	740
	近隣3県	234	362	507	704	933
	周辺4県	95	131	171	220	287
65歳以上単身世帯数の割合（一般世帯総数に占める） (単位：%)	全国	5.0	6.5	7.9	9.2	11.1
	首都圏	4.0	5.5	6.9	8.4	10.2
	東京都	5.3	7.2	8.7	9.8	11.1
	近隣3県	3.2	4.6	6.0	7.7	9.8
	周辺4県	3.8	4.9	6.2	7.6	9.6
65歳以上単身者数の割合（65歳以上人口に占める） (単位：%)	全国	12.1	13.8	15.1	16.4	17.7
	首都圏	12.0	14.2	15.5	17.1	18.5
	東京都	17.3	20.3	21.7	23.6	24.6
	近隣3県	10.4	12.5	13.7	15.3	16.9
	周辺4県	8.1	9.5	10.8	12.3	14.0

資料：「国勢調査」（総務省）を基に国土交通省都市局作成

## 1-5 大都市圏の人口移動量（令和2（2020）年）



注：数字は転入者数と転出者数の差（人）を表す。

資料：「住民基本台帳人口移動報告」（総務省）を基に国土交通省都市局作成

## 1-6 業務核都市等の人口の状況

(単位：人)

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
全国	125,570,246	126,925,843	127,767,994	128,057,352	127,094,745
首都圏	40,402,054	41,321,883	42,379,351	43,467,160	43,829,961
東京都区部	7,967,614	8,134,688	8,489,653	8,945,695	9,272,740
業務核都市計 <sup>注1</sup>	10,663,015	11,070,109	11,496,563	11,925,831	12,103,643
横浜市	3,307,136	3,426,651	3,579,628	3,688,773	3,724,844
川崎市	1,202,820	1,249,905	1,327,011	1,425,512	1,475,213
厚木市	208,627	217,369	222,403	224,420	225,714
町田市	360,525	377,494	405,534	426,987	432,348
相模原市 <sup>注2</sup>	646,513	681,150	701,630	717,544	720,780
八王子市	503,363	536,046	560,012	580,053	577,513
立川市	157,884	164,709	172,566	179,668	176,295
多摩市	148,113	145,862	145,877	147,648	146,631
青梅市	137,234	141,394	142,354	139,339	137,381
川越市	323,353	330,766	333,795	342,670	350,745
熊谷市 <sup>注3</sup>	205,605	206,446	204,675	203,180	198,742
さいたま市 <sup>注4</sup>	1,078,545	1,133,300	1,176,314	1,222,434	1,263,979
春日部市 <sup>注5</sup>	238,598	240,924	238,506	237,171	232,709
越谷市	298,253	308,307	315,792	326,313	337,498
柏市 <sup>注6</sup>	362,880	373,778	380,963	404,012	413,954
土浦市 <sup>注7</sup>	141,862	144,106	144,060	143,839	140,804
つくば市 <sup>注8</sup>	182,327	191,814	200,528	214,590	226,963
牛久市	66,338	73,258	77,223	81,684	84,317
成田市 <sup>注9</sup>	112,662	116,898	121,139	128,933	131,190
千葉市	856,878	887,164	924,319	961,749	971,882
木更津市	123,499	122,768	122,234	129,312	134,141

注1：業務核都市に含まれる表中の市を対象とした。市のデータは平成27(2015)年10月1日現在の境域とし、市の一部が業務核都市に指定されている場合も、市全域のデータとした。

注2：相模原市には、合併前の津久井町、相模湖町、藤野町及び城山町の数値を含む。

注3：熊谷市には、合併前の大里町(村)、妻沼町及び江南町の数値を含む。

注4：さいたま市には、合併前の浦和市、大宮市、与野市及び岩槻市の数値を含む。

注5：春日部市には、合併前の庄和町の数値を含む。

注6：柏市には、合併前の沼南町の数値を含む。

注7：土浦市には、合併前の新治村の数値を含む。

注8：つくば市には、合併前の茎崎町の数値を含む。

注9：成田市には、合併前の下総町及び大栄町の数値を含む。

資料：「国勢調査」(総務省)を基に国土交通省都市局作成

## 1-7 業務核都市等における事業所数（民営）の状況

(単位：事業所)

	平成8年	平成11年	平成13年	平成16年	平成18年	平成21年	平成24年	平成26年	平成28年
全国	6,521,837	6,203,249	6,138,312	5,728,492	5,722,559	5,886,193	5,453,635	5,541,634	5,340,783
首都圏	1,970,027	1,870,648	1,860,928	1,738,656	1,759,349	1,832,839	1,697,921	1,742,817	1,672,608
東京都区部	620,959	580,531	577,545	538,602	549,199	547,610	498,735	521,270	494,337
業務核都市計 <sup>注1</sup>	406,599	387,210	385,438	362,142	367,087	404,120	379,764	394,370	381,608
横浜市	123,040	115,100	114,563	107,201	107,557	121,943	114,454	119,509	114,930
川崎市	45,942	43,255	42,023	41,249	39,260	43,525	40,916	42,616	40,934
厚木市	10,539	10,347	10,120	9,472	9,565	10,083	9,498	9,796	9,602
町田市	11,850	11,374	11,679	11,332	11,807	12,666	11,985	12,476	12,106
相模原市 <sup>注2</sup>	23,193	24,427	23,680	22,620	22,281	24,790	23,124	23,526	22,480
八王子市	19,205	18,281	18,620	17,709	18,468	19,542	18,384	18,979	18,180
立川市	7,410	7,045	7,345	7,225	7,541	8,015	7,584	7,631	7,522
多摩市	3,408	3,382	3,640	3,190	3,435	3,882	3,551	3,899	3,597
青梅市	5,187	4,872	5,074	4,804	4,765	4,979	4,600	4,686	4,504
川越市	11,398	10,914	11,094	10,241	10,446	11,406	10,663	11,097	10,657
熊谷市 <sup>注3</sup>	9,594	9,228	9,175	8,351	8,688	9,194	8,531	8,366	8,140
さいたま市 <sup>注4</sup>	43,424	41,130	41,021	36,769	39,555	43,066	40,692	42,429	41,330
春日部市 <sup>注5</sup>	9,056	8,681	8,599	7,690	7,657	8,167	7,518	7,831	7,508
越谷市	12,614	11,940	11,269	10,738	11,220	11,947	11,213	11,371	11,053
柏市 <sup>注6</sup>	11,869	11,433	11,112	10,360	11,167	12,189	11,588	12,073	12,017
土浦市 <sup>注7</sup>	7,960	7,402	7,222	6,737	6,669	7,072	6,618	6,731	6,373
つくば市 <sup>注8</sup>	7,296	7,051	7,080	6,953	7,309	8,302	7,876	8,463	8,346
牛久市	2,114	2,178	2,380	2,422	2,348	2,406	2,308	2,421	2,402
成田市 <sup>注9</sup>	5,112	4,832	5,150	4,960	5,135	5,502	5,225	5,348	5,350
千葉市	30,834	29,157	29,290	27,195	27,353	30,198	28,629	30,059	29,326
木更津市	5,554	5,181	5,302	4,924	4,861	5,246	4,807	5,063	5,251

注1：業務核都市に含まれる表中の市を対象とした。市のデータは平成26(2014)年10月1日現在の境域とし、市の一部が業務核都市に指定されている場合も、市全域のデータとした。

注2：相模原市について、平成18(2006)年以前のデータは合併前の津久井町及び相模湖町の数値を含み、平成21(2009)年以降のデータは合併後の城山町及び藤野町の数値を含む。

注3：熊谷市については、平成18(2006)年以前のデータは合併前の大里町(村)及び妻沼町の数値を含み、平成21(2009)年以降のデータは合併後の江南町の数値を含む。

注4～9：「1-6 業務核都市における人口の状況」の脚注を参照。

注10：「事業所・企業統計調査」は平成18(2006)年を最後に、「経済センサス」に統合されたため、平成18(2006)年度以前のデータと単純に比較できない。

注11：事業所数については公務及び事業内容等不詳のものを除いた数値である。

資料：平成18(2006)年まで「事業所・企業統計調査」(総務省)、平成21(2009)年、平成26(2014)年は「経済センサス-基礎調査」(総務省)、平成24(2012)年、平成28(2016)年は「経済センサス-活動調査」(総務省・経済産業省)を基に国土交通省都市局作成

## 1-8 業務核都市等における従業者数（民営）の状況

(単位：人)

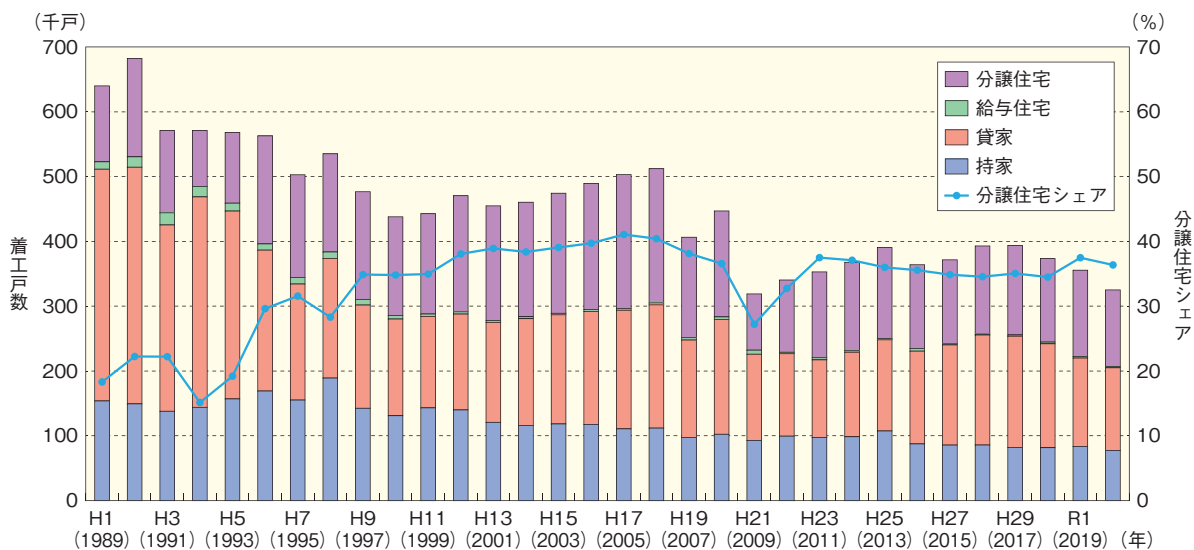
	平成8年	平成11年	平成13年	平成16年	平成18年	平成21年	平成24年	平成26年	平成28年
全国	57,583,042	53,806,580	54,912,703	52,067,396	54,184,428	58,442,129	55,837,252	57,427,704	56,872,826
首都圏	19,505,813	18,079,172	18,798,365	17,953,460	18,905,137	20,720,235	19,888,342	20,734,354	20,539,161
東京都区部	7,040,196	6,319,406	6,711,510	6,456,600	6,859,800	7,542,838	7,211,906	7,711,329	7,550,364
業務核都市計 <sup>注1</sup>	4,243,621	4,001,919	4,123,418	3,936,883	4,188,972	4,750,205	4,612,956	4,806,095	4,810,373
横浜市	1,289,372	1,215,524	1,246,714	1,185,778	1,271,937	1,468,395	1,428,600	1,491,163	1,475,974
川崎市	504,118	468,140	464,655	447,983	459,768	517,728	514,781	554,757	543,812
厚木市	145,871	135,096	135,712	128,404	132,103	144,697	141,511	143,635	147,906
町田市	113,130	105,943	115,549	116,992	126,827	134,592	127,476	134,188	134,323
相模原市 <sup>注2</sup>	224,132	225,101	226,317	212,551	223,079	252,931	240,371	248,495	248,832
八王子市	198,951	187,974	197,074	191,713	205,740	221,681	211,823	218,712	215,748
立川市	82,015	79,440	88,823	84,823	94,607	109,038	112,936	108,457	112,294
多摩市	48,178	51,300	52,582	49,805	56,532	63,391	59,324	61,798	60,945
青梅市	51,182	49,637	52,929	50,869	50,597	52,721	52,370	50,933	47,556
川越市	120,699	111,962	120,838	116,856	123,538	137,578	127,523	136,202	141,082
熊谷市 <sup>注3</sup>	84,798	81,008	82,296	78,734	80,392	89,659	87,755	85,507	82,550
さいたま市 <sup>注4</sup>	441,162	410,504	420,439	397,334	438,942	500,855	483,588	505,680	509,450
春日部市 <sup>注5</sup>	67,669	62,868	63,299	59,170	62,341	65,136	62,371	66,928	66,102
越谷市	98,235	92,824	92,360	87,967	95,195	106,944	106,415	109,772	110,758
柏市 <sup>注6</sup>	118,472	114,270	118,335	111,637	119,138	135,404	132,541	138,449	144,210
土浦市 <sup>注7</sup>	76,157	70,366	71,585	67,581	72,289	78,119	72,782	75,037	75,552
つくば市 <sup>注8</sup>	71,494	70,302	73,968	73,709	96,917	116,214	113,530	122,181	123,657
牛久市	17,283	17,871	19,973	21,624	21,409	24,076	23,452	24,583	25,151
成田市 <sup>注9</sup>	80,510	78,570	85,761	85,073	78,735	91,895	81,848	84,718	87,039
千葉市	364,175	332,173	350,984	326,411	336,430	392,002	385,877	397,226	406,378
木更津市	46,018	41,046	43,225	41,869	42,456	47,149	46,082	47,674	51,054

注：「1-7 業務核都市における事業所数（民営）の状況」の脚注を参照。

資料：平成18(2006)年まで「事業所・企業統計調査」(総務省)、平成21(2009)年、平成26(2014)年は「経済センサス-基礎調査」(総務省)、平成24(2012)年、平成28(2016)年は「経済センサス-活動調査」(総務省・経済産業省)を基に国土交通省都市局作成

## 2 住宅の供給状況

## 2-1 首都圏の利用関係別の新設住宅着工戸数の推移



注：「持家」とは、建築主が自分で居住する目的で建築するものをいう。

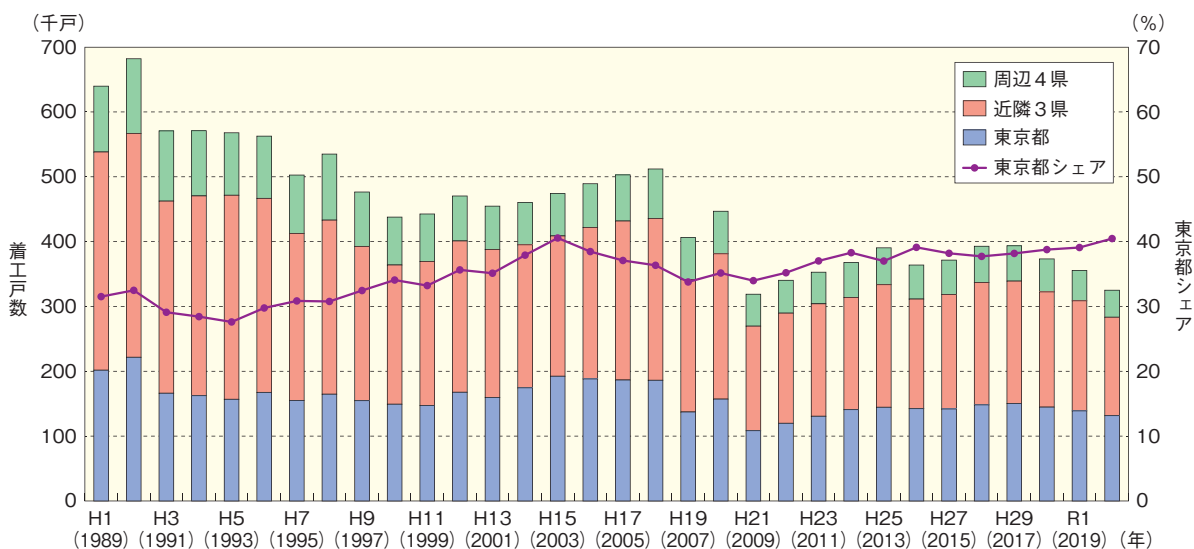
「貸家」とは、建築主が賃貸する目的で建築するものをいう。

「給与住宅」とは、会社、官公署、学校等がその社員、職員、教員等を居住させる目的で建築するものをいう。

「分譲住宅」とは、建売り又は分譲の目的で建築するものをいう。

資料：「住宅着工統計」（国土交通省）を基に国土交通省都市局作成

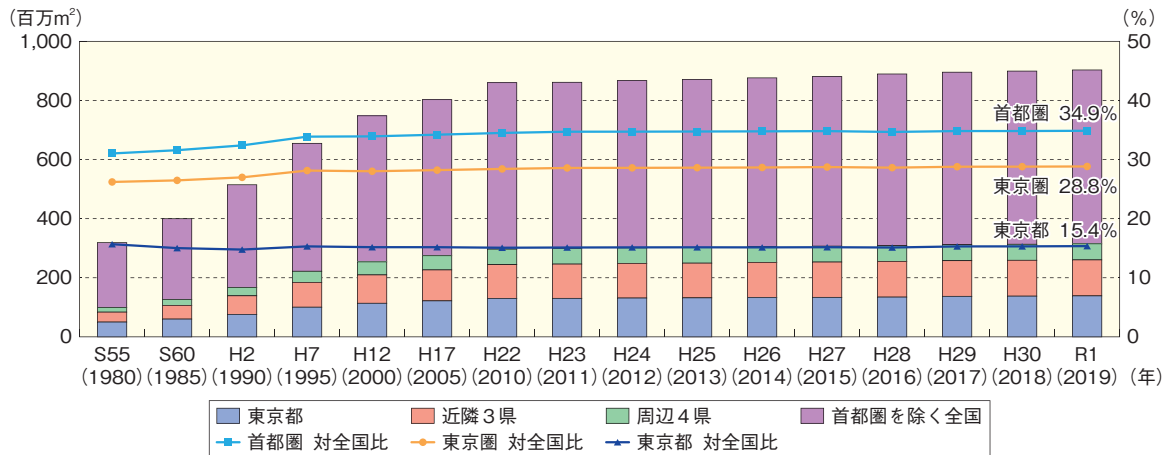
## 2-2 首都圏の地域別の新設住宅着工戸数の推移



資料：「住宅着工統計」（国土交通省）を基に国土交通省都市局作成

## 3 産業機能

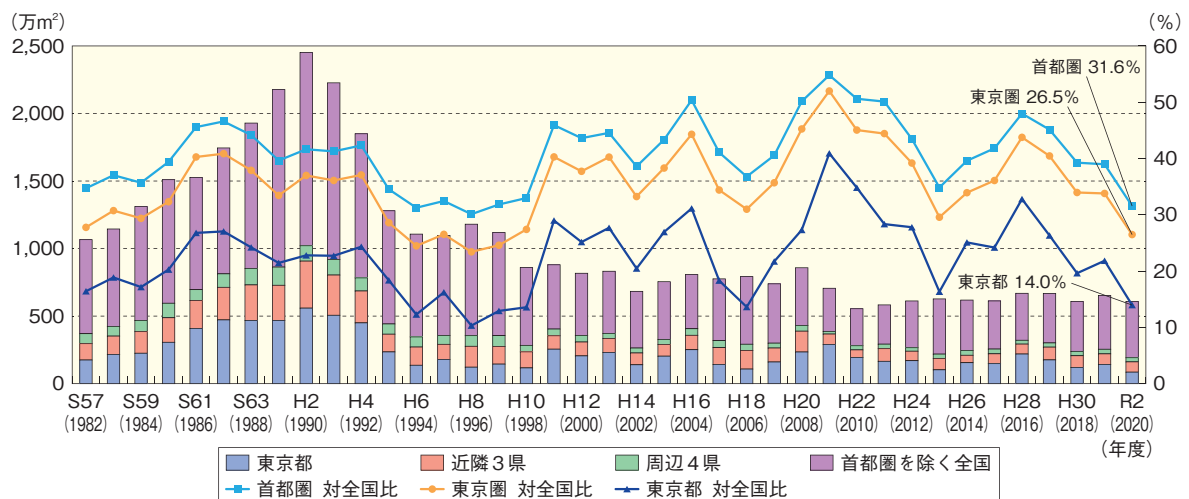
## 3-1 全国・首都圏の事務所・店舗等の床面積の推移



注：折れ線グラフは、それぞれ対全国比を表す。

資料：「固定資産の価格等の概要調査」（総務省）を基に国土交通省都市局作成

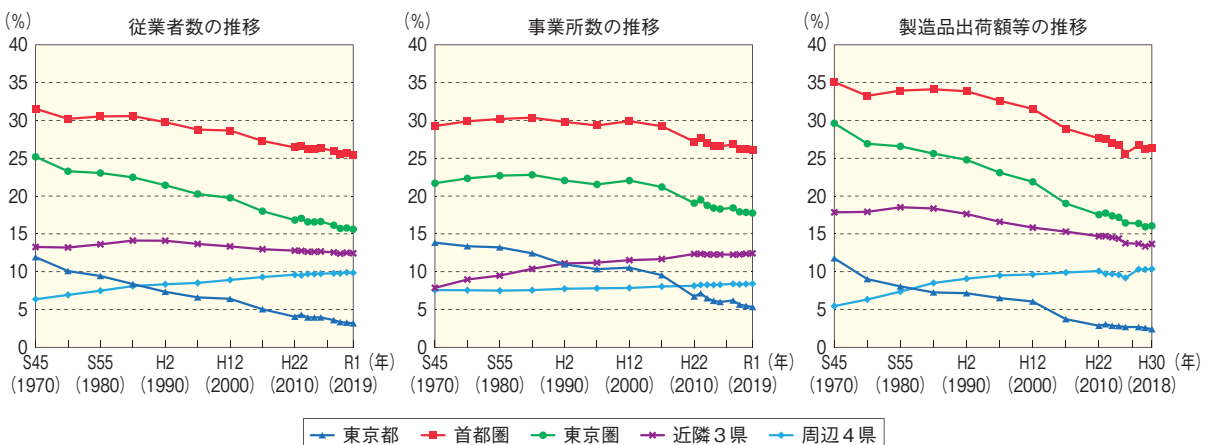
## 3-2 事務所着工床面積の推移



注：折れ線グラフは、それぞれ対全国比を表す。

資料：「建築統計年報」（国土交通省）を基に国土交通省都市局作成。

## 3-3 製造業の対全国シェアの推移



注1：平成22(2010)年は「従業者4人以上の事業所に関する統計表」より作成

注2：従業者数及び事業所数は平成28(2016)年以降、各年6月1日時点の数値を基に作成

資料：「工業統計表」（経済産業省）、「経済センサス-活動調査」（総務省・経済産業省）を基に国土交通省都市局作成

## 3-4 全国・首都圏の主要農業・林業・水産業部門のシェア等

主要農業部門のシェア等（令和元(2019)年）

	農業産出額 (億円)	全国順位	農業産出額部門別シェア (%)						耕地面積 (ha)
			1位		2位		3位		
全 国	89,387		畜産	36.2	野菜	24.1	米	19.6	4,397,000
茨城県	4,302	3	野菜	36.6	畜産	28.9	米	18.8	164,600
千葉県	3,859	4	野菜	33.8	畜産	32.3	米	17.9	124,600
栃木県	2,859	9	畜産	40.4	野菜	27.4	米	23.5	122,600
群馬県	2,361	14	畜産	44.8	野菜	38.6	米	6.6	67,600
埼玉県	1,678	20	野菜	47.4	米	21.1	畜産	14.8	74,500
山梨県	914	34	果実	65.1	野菜	12.0	畜産	8.5	23,500
神奈川県	655	38	野菜	50.8	畜産	22.6	果実	10.8	18,800
東京都	234	47	野菜	51.7	花き	18.4	果実	15.0	6,720

資料：「令和元年生産農業所得統計」、「令和元年耕地及び作付面積統計」（農林水産省）を基に国土交通省都市局作成

主要林業部門のシェア等（令和元(2019)年）

	林業産出額 (千万円)	全国順位	林業産出額主要部門別シェア(%)						現況森林面積 (千ha)
			1位		2位		3位		
全 国	45,492		木材	50.4	栽培きのご類	47.7	林野副産物	1.0	24,436
栃木県	1,026	13	木材	61.3	栽培きのご類	38.3	薪炭	0.2	339
茨城県	703	22	木材	61.7	栽培きのご類	38.0	林野副産物	0.1	198
群馬県	636	24	栽培きのご類	69.3	木材	30.3	薪炭	0.3	407
千葉県	230	38	栽培きのご類	73.5	木材	25.2	林野副産物	1.3	155
埼玉県	150	41	栽培きのご類	60.7	木材	38.7	—	—	119
山梨県	128	42	木材	76.6	栽培きのご類	22.7	林野副産物	0.8	347
東京都	42	45	木材	54.8	栽培きのご類	42.9	林野副産物	2.4	76
神奈川県	36	46	栽培きのご類	58.3	木材	41.7	—	—	93

注：現況森林面積は概数値

資料：「令和元年林業産出額」、「2020年農林業センサス」（農林水産省）を基に国土交通省都市局作成

海面における主要水産業部門のシェア等（令和元(2019)年）

	漁業産出額 (海面漁業・ 養殖業) (億円)	全国順位	漁業産出額魚種別シェア (%)						生産量 (海面漁業・ 養殖業) (千t)
			海面漁業			海面養殖業			
			1位	2位	1位	2位	3位		
全 国	13,484		まぐろ類	14.9	いわし類	8.2	ぶり類	26.8	4,143
千葉県	236	18	いわし類	12.8	ぶり類	12.4	のり類	×	117
茨城県	218	19	いわし類	47.0	さば類	35.7	×	×	×
東京都	208	22	まぐろ類	33.4	かつお類	28.6	まだい	×	×
神奈川県	172	26	まぐろ類	41.9	かつお類	21.6	わかめ類	63.5	35

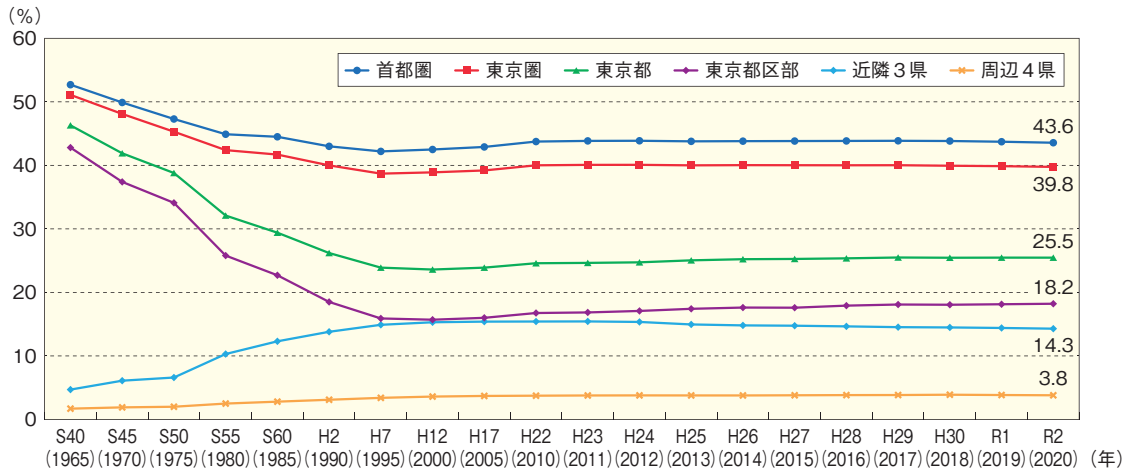
注1：漁業産出額及び生産量は、海面漁業、海面養殖業を合わせたもの。

注2：千葉県、茨城県、東京都の海面養殖業産出額及び茨城県、東京都の海面漁業・養殖業の生産量については非公表である。

資料：「令和元年漁業産出額」、「令和元年漁業・養殖業生産統計」（農林水産省）を基に国土交通省都市局作成



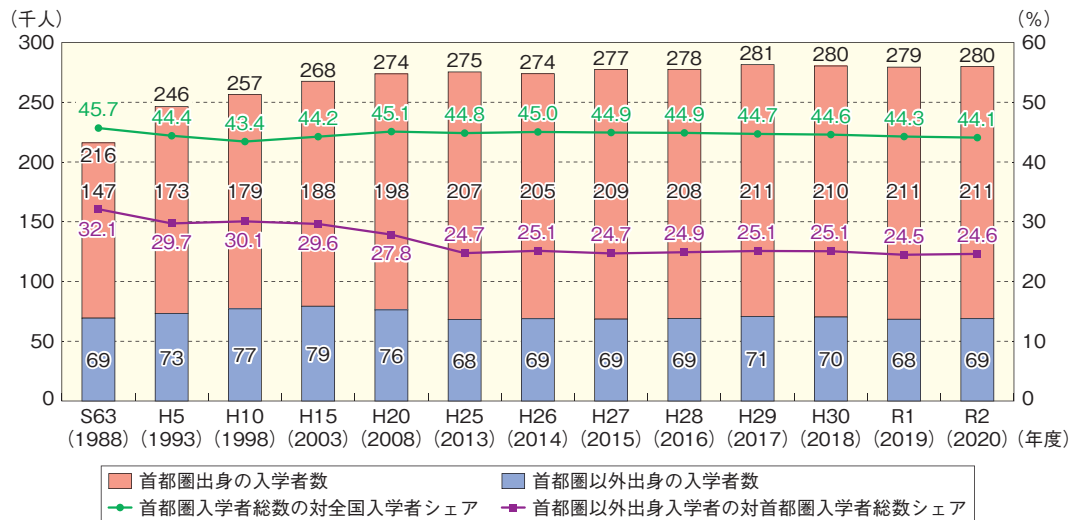
## 3-5 首都圏の大学・短期大学・大学院学生数の対全国シェアの推移（各年5月1日時点）



注：地域区分は、在籍する学部、研究科、学科等の所在地による。

資料：「学校基本調査報告書」（文部科学省）を基に国土交通省都市局作成

## 3-6 首都圏の大学への入学者数とその出身者別内訳とシェアの推移

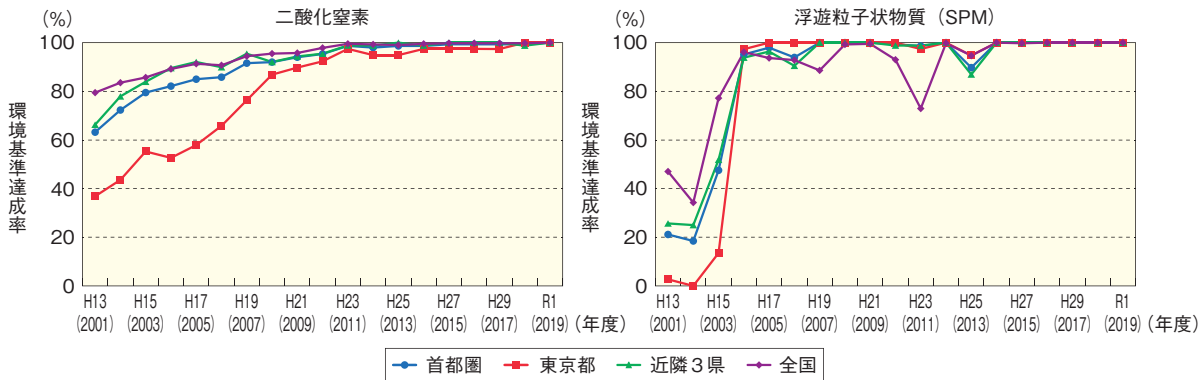


注：入学者数については、表示単位未満の四捨五入により、計と内訳が一致しない場合がある。

資料：「学校基本調査報告書」（文部科学省）を基に国土交通省都市局作成

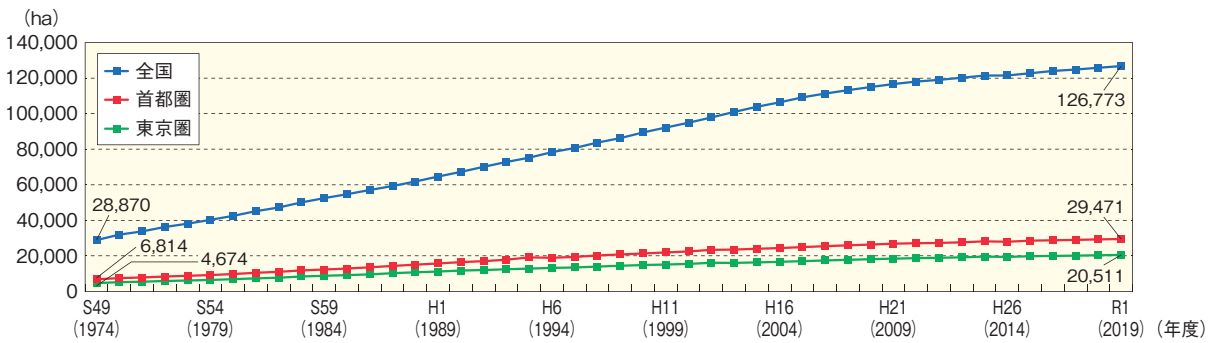
4 環境との共生

4-1 全国・首都圏の二酸化窒素及び浮遊粒子状物質 (SPM) の環境基準達成状況 (自動車排出ガス測定局)



資料: 「大気汚染状況について」(環境省) を基に国土交通省都市局作成

4-2 全国・首都圏の都市公園等の開園面積の推移



注: 各年度3月31日時点の数値

資料: 国土交通省

4-3 首都圏の緑地保全関連制度の指定状況

(年度)

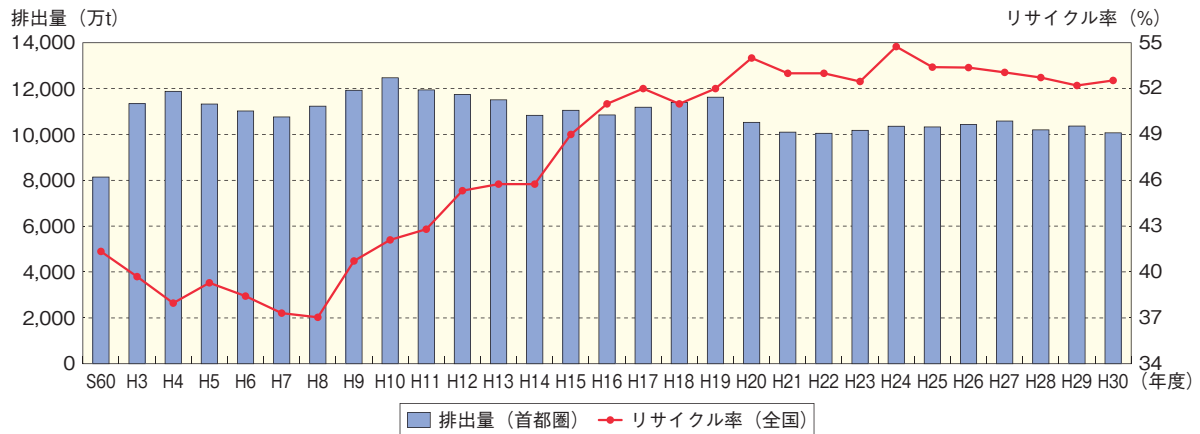
	S61		H5		H12		H19		H26		R1	
	地区数	面積 (ha)	地区数	面積 (ha)	地区数	面積 (ha)	地区数	面積 (ha)	地区数	面積 (ha)	地区数	面積 (ha)
特別緑地保全地区	22	143	47	281	69	358	149	603	263	983	390	1,285
近郊緑地保全区域	18	15,693	18	15,693	18	15,693	19	15,861	19	15,861	19	15,861
近郊緑地特別保全地区	8	653	8	655	9	758	9	759	13	1,049	13	1,056
歴史的風土保存区域	5	956	5	956	5	989	5	989	5	989	5	989
歴史的風土特別保全地区	9	266	13	571	13	571	13	574	13	574	13	574

注: 各種制度は、都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法、古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法による。

特別緑地保全地区には近郊緑地特別保全地区を含まない。

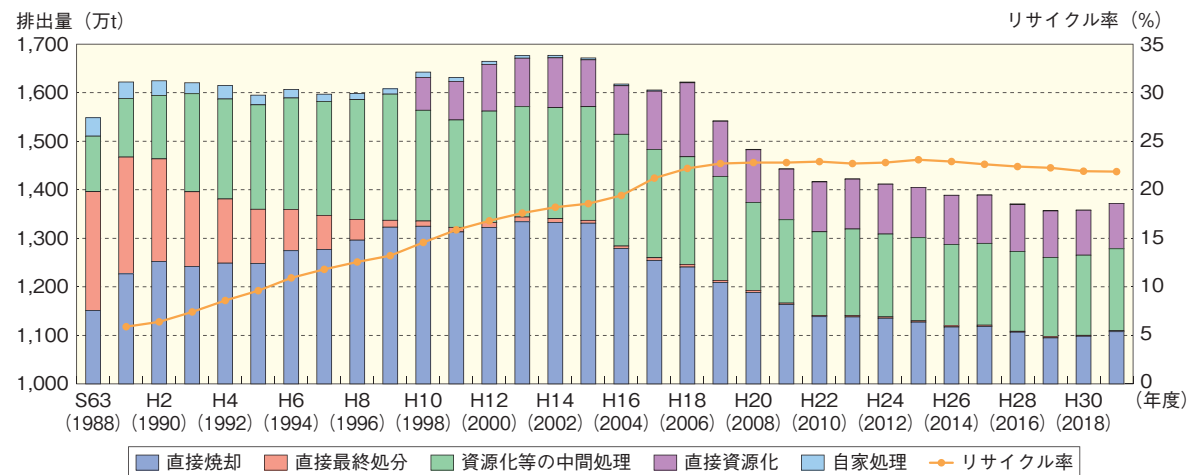
資料: 国土交通省

## 4-4 首都圏の産業廃棄物の排出量及び全国のリサイクル率の推移



資料：「産業廃棄物排出・処理状況調査」（環境省）を基に国土交通省都市局作成

## 4-5 首都圏の一般廃棄物の処理方法別の排出量及びリサイクル率の推移



注1：処分方法別の処分量を基に作成している。

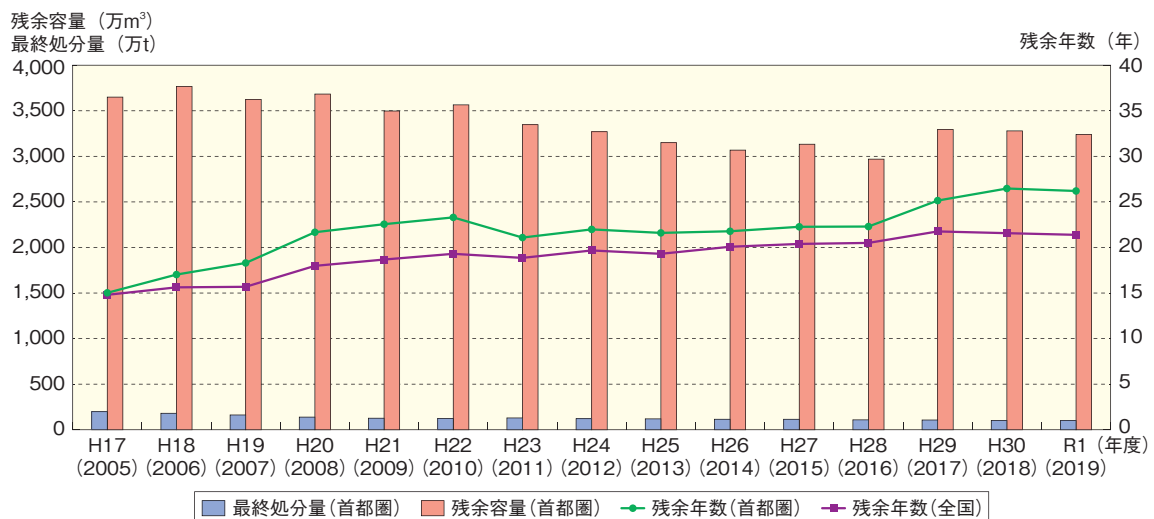
注2：「資源化等の中間処理」の処理方法は、粗大ゴミ処理施設、ゴミ堆肥化施設、ゴミ飼料化施設、メタン化施設、ゴミ燃料化施設、資源化等を行う施設及びその他の施設における処理をいう。

注3：排出量には集団回収量は含まない。

注4：リサイクル率＝(中間処理後の再生利用量＋直接資源化量＋集団回収量)／(ゴミ総処理量＋集団回収量)×100。

資料：「日本の廃棄物処理」（環境省）を基に国土交通省都市局作成

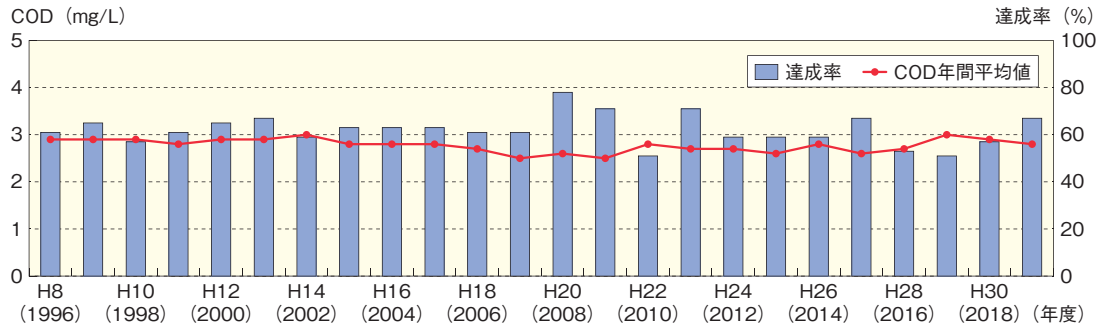
## 4-6 全国・首都圏の一般廃棄物最終処分場の残余年数の推移



注：残余年数＝当該年度の処分場残余容量／(当該年度の最終処分量／埋立ゴミ比重(＝0.8163))

資料：「日本の廃棄物処理」（環境省）を基に国土交通省都市局作成

#### 4-7 東京湾におけるCOD及び環境基準の地点達成率

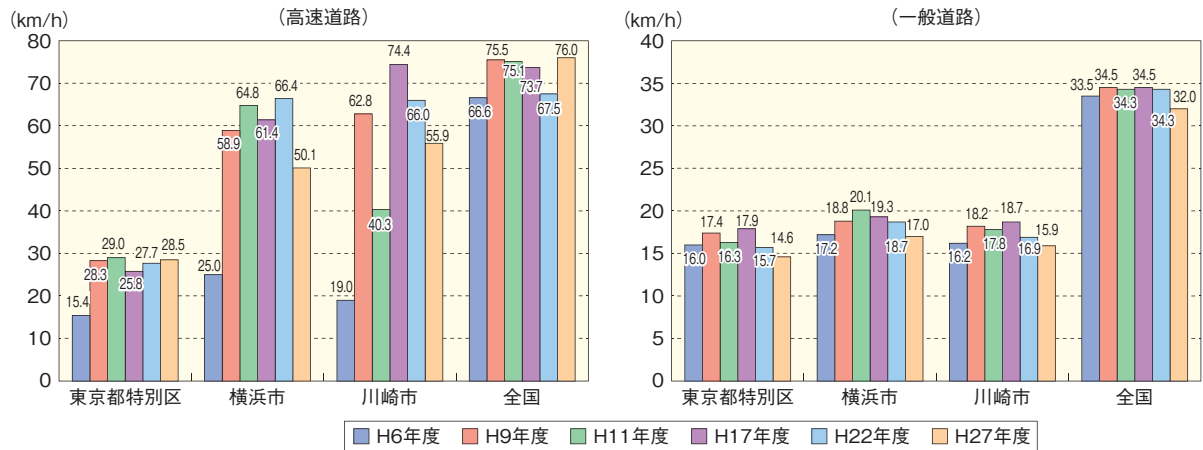


注：地点達成率 = (環境基準達成地点数 / 基準地点数) × 100

資料：「令和元年度公共用水域水質測定結果」(環境省) を基に国土交通省都市局作成

## 5 将来に引き継ぐ社会資本の整備

## 5-1 全国・東京圏主要都市の道路における混雑時平均旅行速度



資料：「道路交通センサス」（国土交通省）を基に国土交通省都市局作成

## 5-2 東京圏における主要区間の混雑率（令和元(2019)年度）

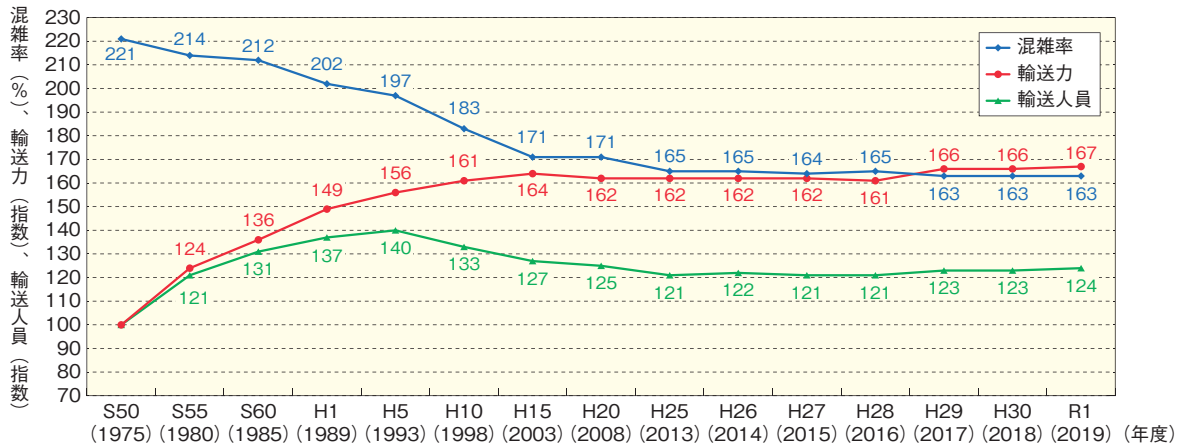
事業者名	線名	区間	時間帯	編成・本数 (両・本)	輸送力 (人)	輸送人員 (人)	混雑率 (%)
東武	伊勢崎	小菅 → 北千住	7:30~8:30	8.4 × 41	45,314	67,956	150
	東上	北池袋 → 池袋	7:30~8:30	10 × 24	33,120	44,728	135
西武	池袋	椎名町 → 池袋	7:30~8:30	9 × 24	30,072	47,397	158
	新宿	下落合 → 高田馬場	7:37~8:37	9.2 × 25	32,020	52,446	164
京成	押上	京成曳舟 → 押上	7:40~8:40	8 × 24	23,232	34,411	148
	本線	大神宮下 → 京成船橋	7:20~8:20	7 × 18	15,246	19,396	127
京王	京王	下高井戸 → 明大前	7:40~8:40	10 × 27	37,800	63,089	167
	井の頭	池ノ上 → 駒場東大前	7:45~8:45	5 × 28	19,600	29,333	150
小田急	小田原	世田谷代田 → 下北沢	7:41~8:41	9.7 × 36	48,858	77,126	158
東急	東横	祐天寺 → 中目黒	7:50~8:50	8.8 × 24	31,650	54,311	172
	田園都市	池尻大橋 → 渋谷	7:50~8:50	10 × 27	40,338	73,712	183
京急	本線	戸部 → 横浜	7:30~8:30	9.5 × 27	32,000	45,889	143
東京都	浅草	本所吾妻橋 → 浅草	7:30~8:30	8 × 24	23,040	30,128	131
	三田	西巢鴨 → 巢鴨	7:40~8:40	6 × 20	16,800	27,118	161
	新宿	西大島 → 住吉	7:40~8:40	9.8 × 17	23,240	36,968	159
東京地下鉄	日比谷	三ノ輪 → 入谷	7:50~8:50	8 × 27	27,216	43,068	158
	銀座	赤坂見附 → 溜池山王	8:00~9:00	6 × 30	18,300	29,264	160
	丸ノ内	新大塚 → 茗荷谷	8:00~9:00	6 × 31	24,552	39,049	159
	東西	木場 → 門前仲町	7:50~8:50	10 × 27	38,448	76,388	199
	有楽町	東池袋 → 護国寺	7:45~8:45	10 × 24	34,176	56,269	165
	千代田	町屋 → 西日暮里	7:45~8:45	10 × 29	44,022	78,927	179
	半蔵門	渋谷 → 表参道	8:00~9:00	10 × 27	38,448	64,930	169
JR東日本	東海道	川崎 → 品川	7:39~8:39	13 × 19	35,036	67,560	193
	横須賀	武蔵小杉 → 西大井	7:26~8:26	13 × 11	20,504	40,060	195
	中央(快速)	中野 → 新宿	7:40~8:40	10 × 30	44,400	81,550	184
	中央(緩行)	代々木 → 千駄ヶ谷	8:01~9:01	10 × 23	34,040	33,790	99
	京浜東北	川口 → 赤羽	7:20~8:20	10 × 25	37,000	64,150	173
	常磐(快速)	松戸 → 北千住	7:18~8:18	14.2 × 19	38,852	58,230	150
	常磐(緩行)	亀有 → 綾瀬	7:23~8:23	10 × 24	33,600	50,060	149
	総武(快速)	新小岩 → 錦糸町	7:34~8:34	13 × 19	35,416	64,100	181
総武(緩行)	錦糸町 → 両国	7:34~8:34	10 × 26	38,480	74,820	194	
31区間の平均混雑率							163

注1：混雑率は最混雑時間帯1時間の平均

注2：主要区間は国土交通省において継続的に混雑率の統計をとっている区間等

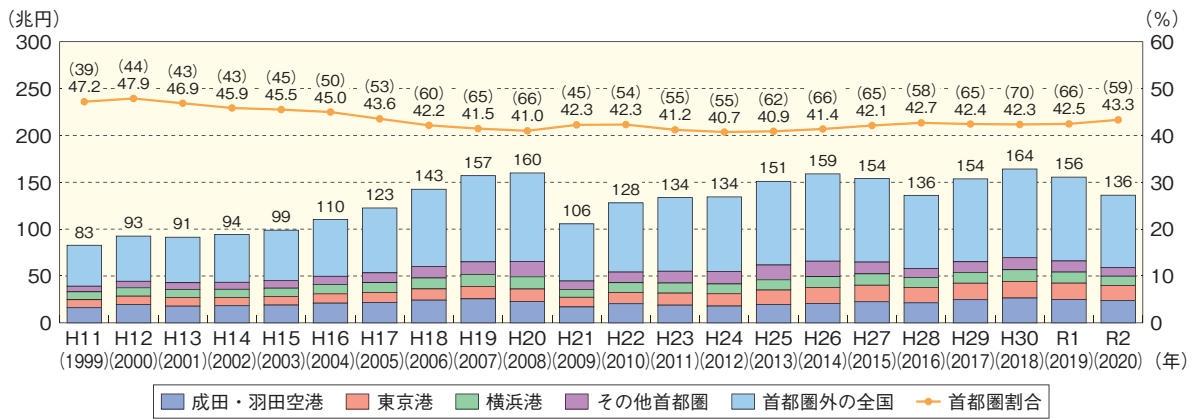
資料：国土交通省

5-3 東京圏における主要31区間の平均混雑率の推移



資料：国土交通省

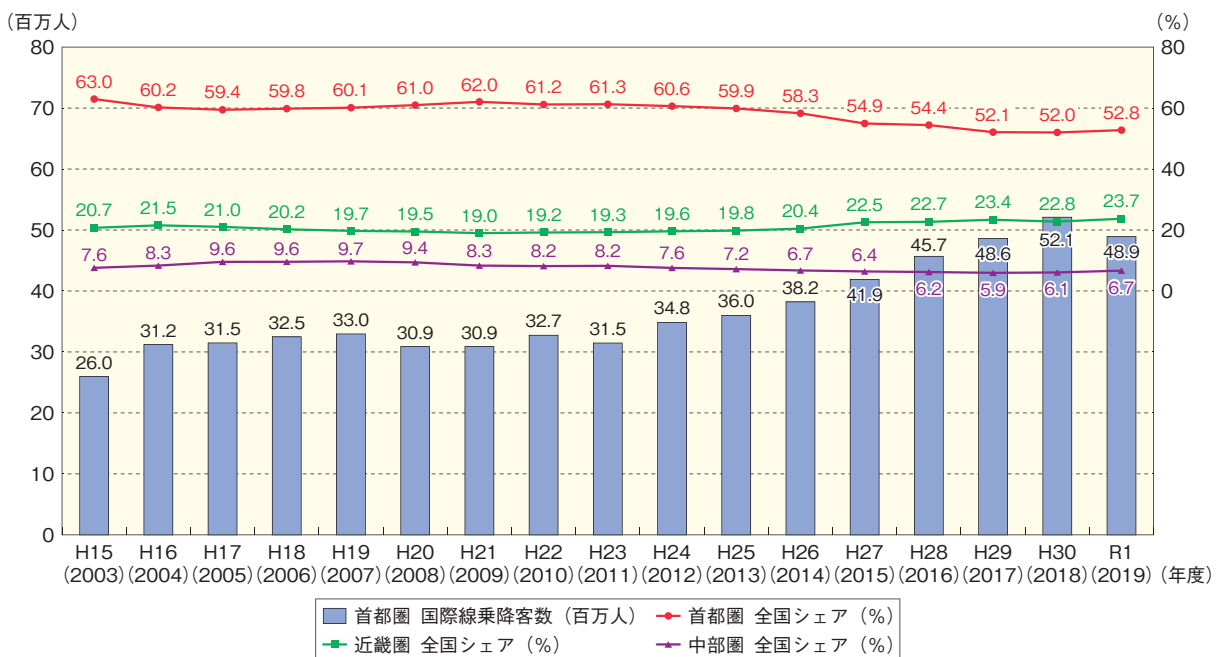
5-4 全国と首都圏の貿易額の推移



注：(カッコ)は首都圏貿易額の合計値

資料：東京税関及び横浜税関公表資料を基に国土交通省都市局作成

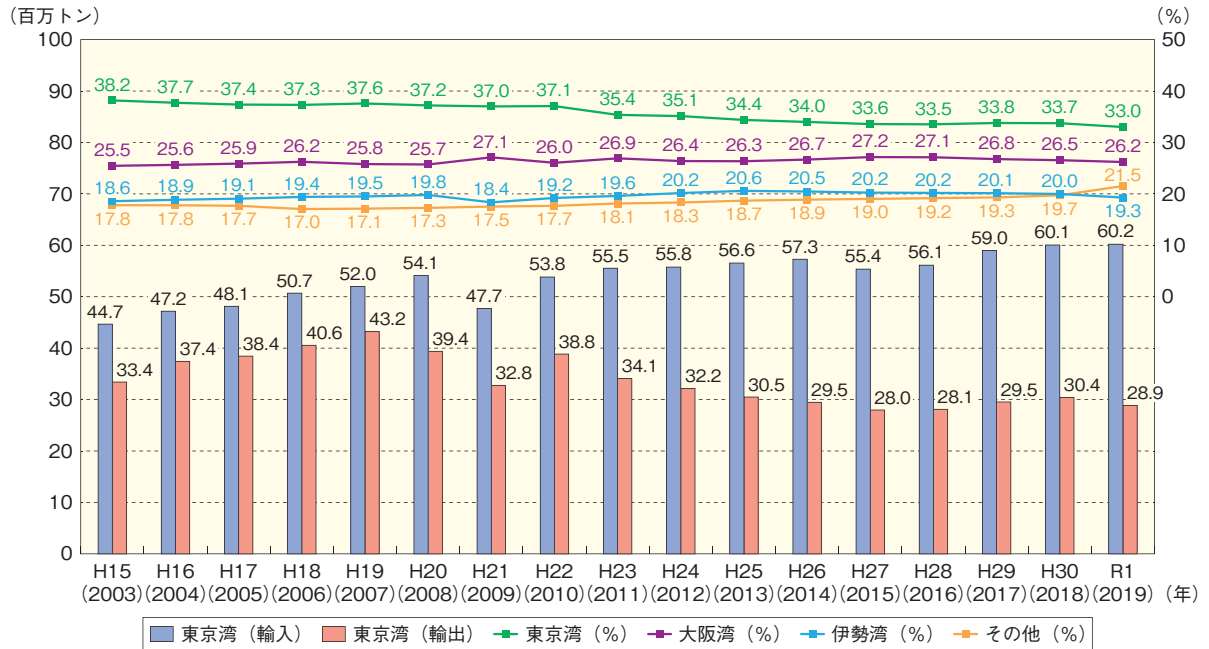
5-5 首都圏の空港の国際線利用状況と三大都市圏のシェア



注：首都圏とは成田国際空港及び東京国際空港の合計、中部圏とは中部国際空港及び名古屋空港、近畿圏とは関西国際空港の乗降客数を指す。

資料：「空港管理状況調査」(国土交通省)を基に国土交通省都市局作成

## 5-6 首都圏の外貿コンテナ取扱貨物量と三大湾のシェア

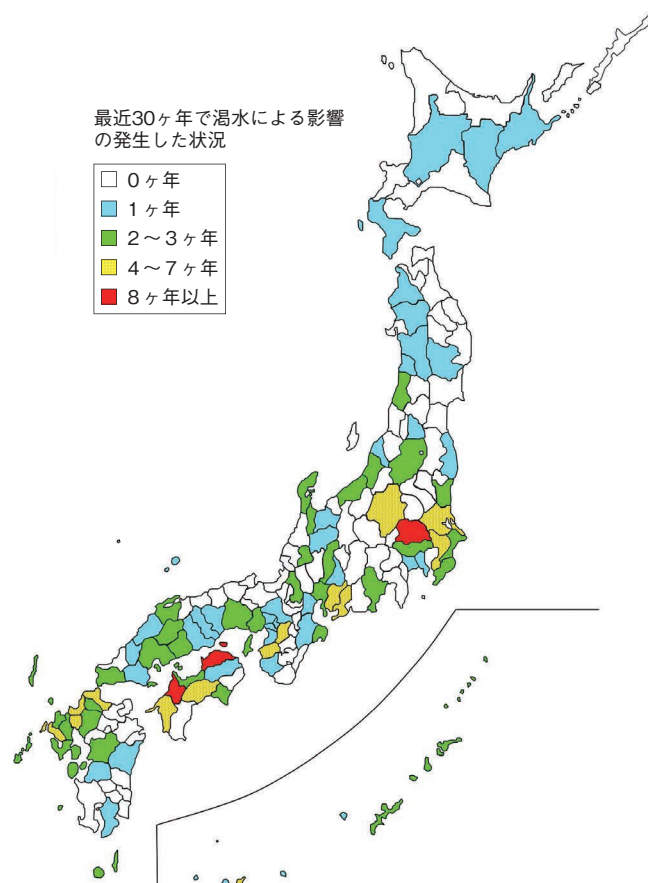


注1：東京湾とは千葉港、東京港、横浜港、川崎港、横須賀港の、大阪湾とは大阪港、堺泉北港、神戸港の、伊勢湾とは名古屋港、三河港、四日市港のそれぞれの取扱貨物量の合計を指す。

注2：内訳の合計が100%とならないのは、数値の四捨五入の関係による。

資料：「港湾統計（年報）」（国土交通省）を基に国土交通省都市局作成

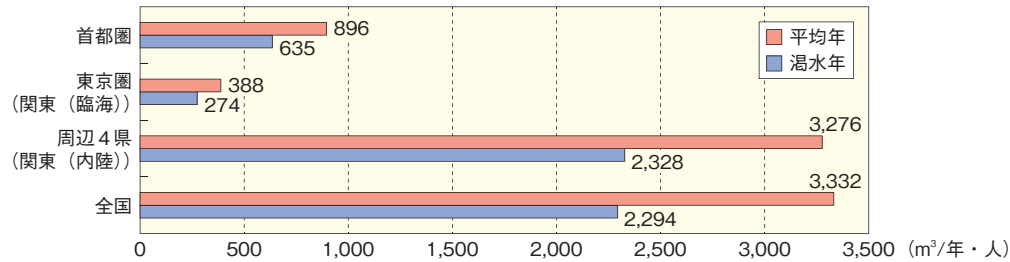
## 5-7 全国の最近30ヵ年で渇水による影響の発生した状況



注：平成2（1990）年から令和元（2019）年の間で、上水道について減断水のあった年数を図示したものである。

資料：「令和2年版日本の水資源の現況」（国土交通省）

### 5-8 全国・首都圏の1人当たりの水資源賦存量



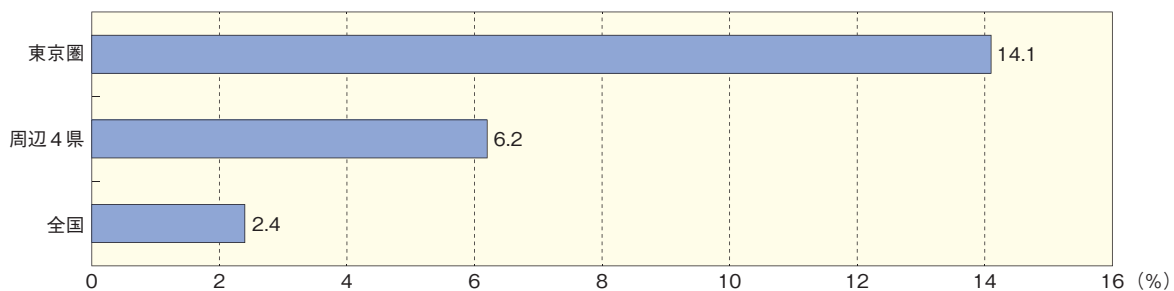
注1：水資源賦存量とは、水資源として、理論上、人間が最大限利用可能な量であり、降水量から蒸発散によって失われる量を引いたものに当該地域の面積を乗じた値。

注2：平均年の水資源賦存量は、昭和61(1986)年～平成27(2015)年までの平均値である。

注3：渇水年とは、昭和61(1986)～平成27(2015)年において降水量が少ない方から数えて3番目の年。

資料：「令和2年版日本の水資源の現況」(国土交通省)を基に国土交通省都市局作成

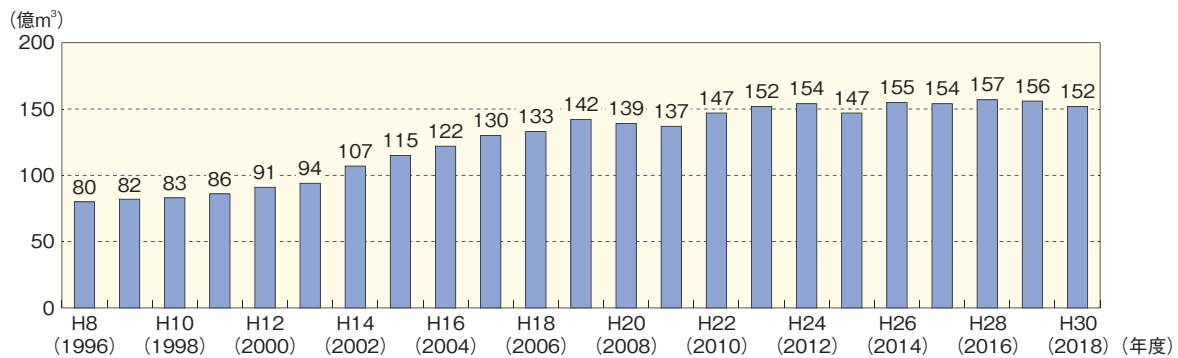
### 5-9 全国・首都圏の都市用水使用量に対する不安定取水量<sup>1)</sup>の割合



注：不安定取水：水源となる水資源開発施設が完成していないため、河川流量が豊富な時にのみ可能となる取水で、河川流量が少ない時には取水することが困難となる河川からの取水。

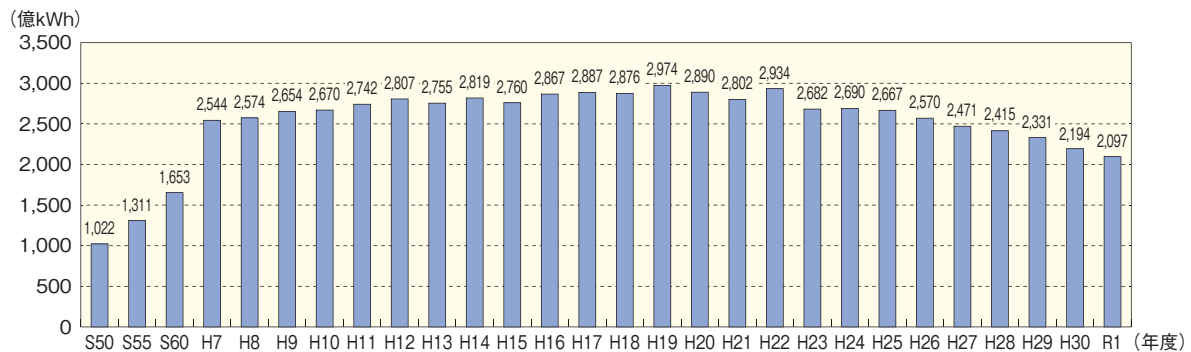
資料：「令和2年版日本の水資源の現況」(国土交通省)を基に国土交通省都市局作成

### 5-10 首都圏のガス販売量の推移 (東京ガス株式会社管内)



資料：「インバスターズガイド」(東京ガス株式会社)を基に国土交通省都市局作成

### 5-11 首都圏の販売電力量の推移 (東京電力ホールディングス株式会社管内)



資料：「販売電力量」(東京電力ホールディングス株式会社)等を基に国土交通省都市局作成



